

まちづくり協議会 NEWS



第5号

平成 26 年 11 月



[発行] JR 芦屋 駅 南 地 区 まち づ くり 協 議 会



現地見学会を開催しました！

●第 6 回計画検討会(現地見学会)を実施しました。

10月25日(土)の第6回計画検討会は、現地見学会を実施し、市街地再開発事業の事例として近鉄生駒駅、土地区画整理事業の事例として南海浜寺公園駅における取り組みや現地の様子を見学しました。

当日の参加者は、協議会会員8名、市職員・コンサルタント9名の計17名となりました。(概要は次頁参照。)



近鉄生駒駅前

●第 7 回計画検討会を行いました。

第7回計画検討会を11月8日(土)に開催しました。現地見学会の報告及び参加者の感想をいただいたのち、駅前広場や事業に関する検討を行いました。



南海浜寺公園駅前

■ 現地見学会の感想

- ・広場の規模(大きさ)は、机上でイメージできないので、現地で体感できたことが良かった。
- ・生駒駅前や浜寺公園駅前を参考に、芦屋駅前の広場の規模なども考えていけないか。
- ・生駒駅前は、土地が狭いところで工夫して整備されていると感じた。芦屋でも面積を小さくする工夫ができないのか。
- ・生駒駅前は、新しい事業に合わせて一般車の乗降場を増設するなど、駅前の課題解決を後で解決したのでは、と感じた。芦屋駅前に必要とされる機能については、前もって備えておく必要があるのではないかと感じた。
- ・芦屋駅前に必要な機能を盛り込むためには、まだ面積が足りないようにも感じた。
- ・芦屋らしさやゆとり空間を設けるなども考えられないか。そのために、立体で上部空間を使うなども考えられたら良いのではないか。
- ・生駒駅前の図書館は良かった。デッキで駅と建物がつながっていることも良いアイデア。
- ・浜寺公園駅は、大きな通りから駅舎が見えて印象的だった。
- ・それぞれ鉄道会社が事業に協力したことも決め手となっていると感じた。



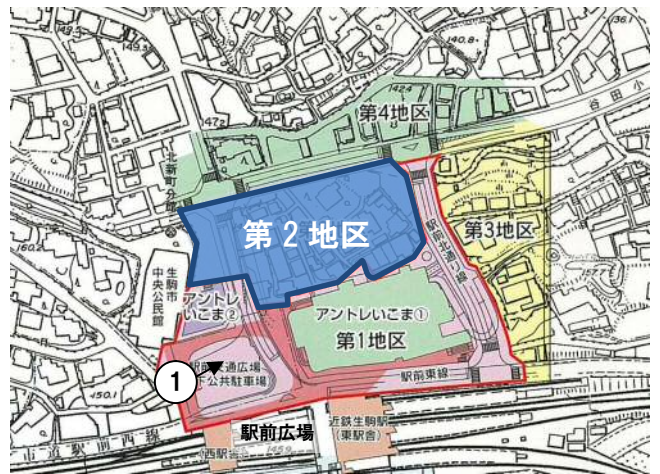
「計画検討会(現地見学会含む)」での内容

●現地見学会の報告

【近鉄生駒駅】

近鉄生駒駅北口の市街地再開発事業（全体施行地区面積約 3.9ha）のうち、今年完成した第 2 地区（約 0.8ha）を中心に見学しました。

デッキからつながる「にぎわい広場」や生駒山を望む屋外テラスのある図書室などが特徴的です。駅前広場等も見学しました。



① 駅前広場(西より)



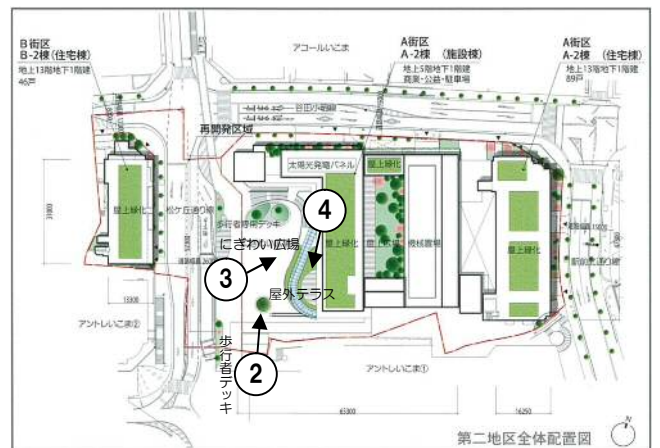
② 駅より第 2 地区への歩行者デッキ



③ にぎわい広場



④ 屋外テラス

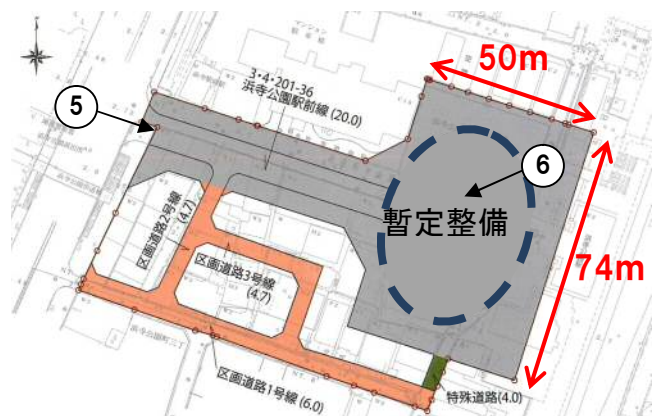


第二地区全体配置図

【南海浜寺公園駅】

南海浜寺公園駅前の土地区画整理事業（施行地区面積約 0.9ha）を中心に見学しました。本事業は、南海本線の連続立体交差事業に関連し、駅前広場や浜寺公園につながる駅前の道路などを整備（現時点では暫定整備の段階）しています。

国登録有形文化財の浜寺公園駅舎（辰野金吾設計）が特徴的で、今後は、駅舎と一体となったまち並みを形成していくということです。



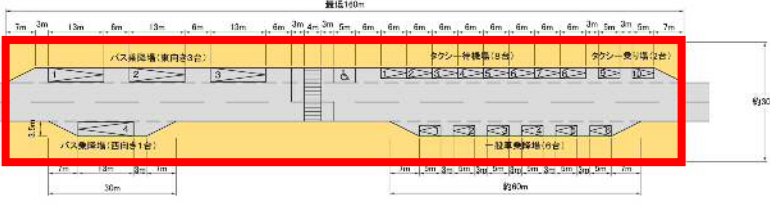


⑤ 暫定整備された浜寺公園駅前線



⑥ 暫定整備された駅前広場

●駅前広場の検討について

駅前広場の機能配置形状について、これまでの意見・要望も踏まえ、以下の3つの案を用いて、大まかに比較検討し、意見交換を行いました。

| | | |
|---|--|--|
| <p>1.</p> <p>通過型 路側一層 案</p> | <p>約 4,500~5,000 m² (道路車道部分 約 1,400 m²を含む)</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ・実質の駅前広場としての面積は最小限に抑えられる。 ・東西延長が長く、駅利用者にとっての利便性が悪く、交通結節機能としては、不利な案。 ・車両が転回できず、一方向の通行に限られる。 |
| <p>2.</p> <p>通過型 路側多層 案</p> | <p>約 5,000~6,500 m² (道路車道部分 約 1,000~1,200 m²を含む)</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ・実質の駅前広場としての面積はロータリー型とほぼ同規模となる。 ・東西延長を抑えられ、駅利用者にとっての利便性が向上する。 ・バスの転回はできず、一方向の通行に限られる。 |
| <p>3.</p> <p>ロータリー 一型案</p> | <p>約 4,000~5,000 m² (配置計画や環境空間の規模等により異なる)</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ・駅前広場としての面積は路側多層案とほぼ同規模ですが、別途、東西方向の道路機能が必要となる。 ・東西延長を抑えられ、駅利用者にとっての利便性が向上する。 ・車両が転回できる。 |

■ 駅前広場の取り方について（次ページにつづく）

【参加者】生駒駅前を見に行き、道路を横断して駅へと向かう際に、横断歩道の代わりにエレベーターなどを配置することで対応できると学んだ。交通の安全性も重要だが、住民の暮らしやすさを考えるのが第一。全ての案の良いところを比較して、どれが一番良いかを考えていくほうが良い。

【参加者】まずは、住民の希望する案を持って JR の意向を聞くとともに協議をしてほしい。その結果を踏まえてから具体案の検討に入ってもいいのではないかと。

【市】計画検討会の場に出た意見、個別の意向調査の実施状況等について JR に伝えて協議し、JR としての意向などを伺っていく。

■ 駅前広場の取り方について（つづき）

【参加者】面積を確保しながら、必要な機能について最初に決めておく必要がある。議論を進めるためには、モデル図ではなく、具体的に芦屋駅前には当てはめてみて考えていく必要があるのではないか。

【参加者】JRの意向も踏まえてから具体案の検討に進んだほうがいいのではないかな。

【参加者】交通広場だけでなく、駅前としてどういう場所かという視点で見てもらいたい。住民の暮らしの視点も重要。住民の意向を大事にしてほしい。

【参加者】交通機能も芦屋らしさも代替住宅も文化機能も、全ての機能を狭い面積のなかで盛り込んでいきたい。交通だけをやるのではなく、他の機能を入れることも検討してほしい。ロータリーだと交通のための面積が増えるので、必要最小限の交通機能を考えつつ、今の状況より改善される状況にできれば良いのでは。交通機能の面積を小さくし、他の機能を入れていくことができれば良い。

■ 駅前のまちづくりについて

【参加者】このまちづくりは、親の代のころから取り組んでいることでもあるので、今回でまちづくりの取り組みをやりきらないといけない。現地見学会は、現在の都市計画決定区域内の方々の参加が少なく残念だった。みんなで実際のものを見て確認しながら、理解して議論して譲るところは譲り、主張するところは主張しないとけない。「やる」ということが重要である。



お知らせ

●個別の意向調査を実施しています。

10月27日（月）より、本まちづくり協議会の会員の皆様を対象に、市が個別の意向調査を実施し、事業に対するご意向などをお聞かせいただいています。引き続きのご協力をお願い申し上げます。

◆今後の予定◆

第8回は市民センター（公民館）で開催しますので、ご注意ください。

第8回計画検討会：平成26年11月29日（土）午前10時30分より

※場所：市民センター（公民館） 114号室

第9回計画検討会：平成26年12月20日（土）午前10時30分より

※場所：上宮川文化センター 3階 大会議室

※内容は、個別意向調査の結果概要の報告、事業区域及び事業手法などについての検討を行っていく予定です。

■お問い合わせ先

JR芦屋駅南地区まちづくり協議会

（事務局）〒659-8501 芦屋市精道町7-6

芦屋市都市建設部都市整備課

☎ 0797-38-2074 FAX 0797-38-7974